

## 10 図書・学術情報に関する事項

学術情報センターでは、教育及び研究に必要な図書並びに学術情報について、「2006年度 図書収書計画」に基づき精力的に選書・収集するとともに、これら資料を利用者が効率的・効果的に活用できるように各種説明会及び講習会を実施した。

ハード面では、学外（自宅等）からデータベース等が利用できる環境の構築や、視聴覚機器及び仕器のリプレイスを行った。

更に学術情報センターでは、昨年度に引き続き私立大学図書館で構成される私立大学図書館協会（加盟校 496 校）の会長校を担当し、総会、常任幹事会、東西合同役員会等各種会議の運営を行い、2年間の任期を終えた。

### 1) 図書・学術情報を活用した教育支援

#### ●新入生オリエンテーションの実施

深草及び瀬田図書館では、新入生のオリエンテーションにおいて、学術情報センターの概要、図書館の使い方、資料検索方法等、図書館を利用する上での基本的な事項の説明会を開催した。更に、希望者には図書館の利用方法や実際の資料の配架場所等を案内する図書館ツアーを実施した。

#### ●各種データベース講習会の実施

学部生や院生を対象に、学術情報センターが導入しているオンラインデータベースを用いて、図書・雑誌・論文・新聞記事等の基本的な調べ方や、レポート・論文作成・企業情報収集のための情報検索法についての講習会を定期的に開催した。

#### ●学生用図書の充実

学術情報センターでは、各館における専任事務職員が積極的に選書を行い、「図書収書計画」に基づく学習用図書及び基本図書の収集に努め、これらを広く利用者に供してきた。

#### ●視聴覚資料の充実

大宮図書館では、改修により視聴覚コーナーのスペースと機器が充実したことにもない、DVD や CD-ROM 等の視聴覚資料を重点的に収集し資料の充実を図った。

その他、次のような教育支援事業を実施した。

#### ●特別記念展覧「所蔵稀書と図書館歴史資料」（大宮図書館改修記念事業）の開催

#### ●図書館報『来・ぶらり』の発行

### 2) 図書・学術情報を活用した研究支援

#### ●電子資料の充実

学術情報センターでは、これまで 32 種類のデータベースと約 1,000 タイトルの電子ジャーナルを利用可能としてきたが、平成 18 年度には、新たに「THE TIMES-Digital Archive- (1785～1985)」を導入し、利用環境の充実を図った。

#### ●外部データベースへの学外（自宅等）からのアクセス

電子ジャーナルや学術データベース等の利用を促進するため、学外（自宅等）からこれら電子資

料へアクセスが行える環境を提供した。  
その他、次のような研究支援事業を実施した。

- 新任教育職員対象の図書館利用説明の実施（大学教育開発センターとの連携）
- 古典籍のデジタルアーカイブ化（古典籍デジタルアーカイブ研究センターとの連携）

### 3) 図書・学術情報利用環境の整備

#### ●図書等資料の充実（資料整備）

平成 18 年度は、内外等併せて約 4 万 2 千点の資料を「図書収書計画」に基づき計画的に収集に努めた。その結果、学術情報センターでの所蔵資料数は約 178 万冊の所蔵となった。

#### ●深草図書館 入口の自動ドア化（施設整備）

深草図書館正面玄関の自動ドア化を行い、図書館利用におけるバリアフリー化を進めるとともに、騒音防止、館内冷暖房の効率化を図った。

#### ●瀬田図書館新書庫スペースの確保及びその運用方法について（施設整備）

瀬田学舎智光館内に確保された書庫スペースについて、その運用方法を検討するとともに、平成 19 年度新規事業として予算要求を行った。

#### ●深草図書館 什器・瀬田図書館 視聴覚機器のリプレイス（備品整備）

老朽化の著しい深草図書館の什器（4 年間の年次計画）および瀬田図書館の視聴覚機器（2 年間の年次計画：平成 19 年度深草図書館）リプレイスを行った。

#### ●日曜開館の実施（その他整備）

平成 17 年度に引き続き、深草、瀬田図書館で試行的に日曜開館を実施した。加えて、改修竣工を終えた大宮図書館においても初めてこれを実施した。

### 4) 大宮図書館改修記念事業の実施

平成 18 年 1 月に大宮図書館が改修・竣工したことに伴い、大宮図書館の機能や設備が飛躍的に充実したことを広く周知するため、「アジア文化の伝承と発信」をメインテーマとした記念事業（記念講演会、特別展観、図書館ツアー）を開催した。